

議会だより つるい

雨にも負けず！ 下幌呂小学校の全校キャンプ

鶴居村音楽祭開催へ



TOPICS

6月定例会 補正予算の中身は？・P2

7議員が村政を問う！一般質問・・・P6

視察・研修 全道議員研修・・・P15



鶴居村マスコットキャラクター「つるぼー」

定例会 主な内容

6月定例会のあらまし



松井広道議長

第2回定例会は6月4日に開会し、5日に閉会しました。村長からの提出議案は14件で、内訳は報告2件、条例改正4件、規約変更3件、補正予算2件、人事案件2件、契約案件1件です。すべての議案が原案通り可決されました。

一般質問では、7議員が11項目の質問で村政を問いました。

▽U-I-Jターン 新規就業支援事業

300万円

東京圏への一極集中を防ぎ、地方の担い手不足を解消するため、地方創生推進交付金を活用したU-I-Jターンによる就業・起業者を創出する事業を行います。

鶴居村で働こう！

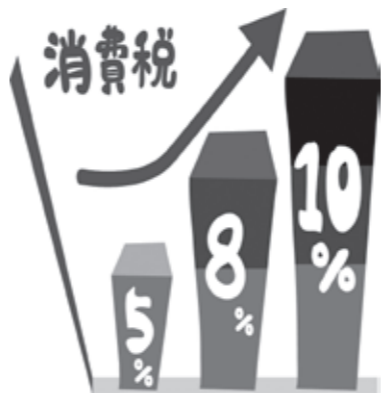
Uターン
Iターン
Jターン

東京から鶴居村へ

▽子育て世帯などへ プレミアム商品券

426万円

消費税率10%への引き上げが低所得者や子育て世帯へ影響することを緩和し、地域の消費が落ち込まないようにプレミアム付きの商品券を発行します。対象者は住民税非課税者で9月30日時点で3歳未満の子がいる世帯で、10月以降に2万5千円の商品券を2万円で購入します。なお、子育て世帯には3歳未満の子どもの人数分販売します。



10月から消費税が10%に！

▽工事請負 契約の締結

鶴居西公共エリアに建設する、子育て支援複合施設の工事請負契約を締結しました。

契約工事名：子育て支援施設建築主体工事
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：4億7300万円
契約の相手：村井・佐々木特定建設工事共同企業体

▽ベトナム観光推進

29万円

ベトナム観光を推進するために、HISベトナム支店などが主催するイベント「フィールジャパン・イン・ベトナム」に参加します。



ベトナムとの交流を積極的に推進

▽固定資産 評価審査委員 会委員の選任

固定資産の価格に関する納税者の不服（審査の申出）を審査決定するため、法に基づき設置された中立的な機関の委員を選任しました。任期は3年です。

▽振興公社 決算報告

昨年度の運動広場、どさんこ牧場、パークゴルフ場の経営はGW時の気候不順や胆振東部地震などが影響し、売り上げは前年より減少しました。また、つるばーの家は3年目を迎え順調な売り上げを示しており、酪産館もふるさと納税の返礼品でチーズの売り上げが増えています。

令和元年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計（第1号）	5億1560万6千円	50億2860万6千円	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計	15万9千円	5525万9千円	全員賛成により可決

▽下幌呂小学校が 道徳教育推進校に

25万円

下幌呂小学校が「北海道道徳教育推進校」に指定されました。「考え、議論する道徳」を目指します。



指定された下幌呂小学校

▽野澤弘幸さん（51歳）



▽石脇征次郎さん（77歳）



▶決算の主な項目

売上高	2億2055万4428円
売上原価	1億8729万8621円
管理費	2851万6808円
経常利益	359万0713円
当期純利益	216万6413円

定例会
主な質問

補正予算や条例改正の
ここが聞きたい

定例会
議案賛否

6月定例会
審議した議案と結果

上程議案	賛成：○ 反対：×	結果	松井俊治	東隆行	松井洋和	佐藤吉人	及川満浩	吉田保博	大津泰則	秋里広志	松井広道
条例の制定・一部改正											
特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 選挙時に長時間勤務となる投票所の投票管理者などの報酬を増額	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般職員給与条例の一部改正 管理職員特別勤務手当の改正	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
村立へき地保育所条例の一部改正 10月1日より月額保育料を0円とする改正	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファミリースポーツセンター設置条例の一部改正 ファミリースポーツセンター建て替えによる設置場所の改正	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度補正予算											
一般会計（第1号） 主に事業費の変更と新規事業費の計上	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計（第1号） 施設用地の購入	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事											
固定資産評価審査委員会委員の選任（石脇征次郎さん）	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任（野澤弘幸さん）	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他											
北海道市町村総合事務組合規約の変更 地方自治法の規定に基づき改正	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北海道市町村職員退職手当組合規約の変更 地方自治法の規定に基づき改正	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北海道市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更 地方自治法の規定に基づき改正	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告											
鶴居村振興公社経営状況報告書の提出 平成30年度決算と令和元年度の事業計画の報告	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計繰越明許費繰越計算書 畜産クラスター補助金などの繰越費の報告	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契約の締結											
工事請負契約の締結 子育て支援複合施設建築主体工事	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書											
新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
精神障がい者も含めた医療制度の創設を求める意見書の提出	賛成	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（注）議長は賛否を表明しません。賛否同数の場合のみ議長採決として表明します。

▽寄付金で教材購入

吉田保博議員
教材購入費として各小中学校に10万円ずつ配布するのは、教育課長
3月に教育振興を目的に50万円の寄付があり、寄付者の意向に沿い子どもたちの教材購入費として各学校に配布します。

▽ベトナムから受け入れは

大津泰則議員
インバウンド観光推進のためにベトナムを訪問します。昨年はHSベトナム支店から、社員の派遣受け入れを行ったが、今回は、産業振興課長補佐
観光協会がインバウンド観光事業を行っているので、村もそれに合った形で取り組んでいきます。

▽プレミアム商品券

及川満浩議員
消費増税を受け、子育て世帯などに向けたプレミアム商品券を販売するが、販売方法は、保健福祉課長
3歳未満の子がいる世帯と低所得者世帯を対象に、5千円の商品券を4千円で5回販売します。一括で購入することもできます。

▽東京から鶴居村へ

松井洋和議員
東京からUターンで鶴居村に新規就業者と補助金がもらえますが、受け入れる対象企業は、企画財政課長
受け入れ対象企業は中小企業などで、マッチングサイトに登録する必要があります。詳細はこれからですが、個人事業主は対象としない予定です。

松井洋和議員
古い公用車の修理費を計上しているが、公用車の入れ替えの基準は、企画財政課長
公用車の入れ替え基準は特になく、使用状況や使用頻度を見ながら適時更新していきます。

▽公用車の入れ替えの基準は

松井洋和議員
古い公用車の修理費を計上しているが、公用車の入れ替えの基準は、企画財政課長
公用車の入れ替え基準は特になく、使用状況や使用頻度を見ながら適時更新していきます。

松井洋和議員
昨年に引き続き、インバウンド観光を推進するためにベトナムを訪問するが、今回の目的は、産業振興課長補佐
大手旅行会社であるHSベトナム支店が、鶴居村を中心とした道東観光ツアーを販売するので、ベトナムのイベントに参加しPRを行います。



ベトナムからのインバウンド推進

ご意見を議会へ

村政について意見や要望がある場合、どなたでも議会に「請願」や「陳情」として文書により提出することができます。
請願書・陳情書は随時受付しています。

意見交換しませんか？

議会では、広く村民と意見を交換する機会を設けています。
希望される方（団体やグループなど）は、議会事務局までお問い合わせ下さい。
議会事務局 0154-64-2511



まつい ひろかず
松井洋和 議員

コミュニティスクールは

教育長 学校と地域が一体となって

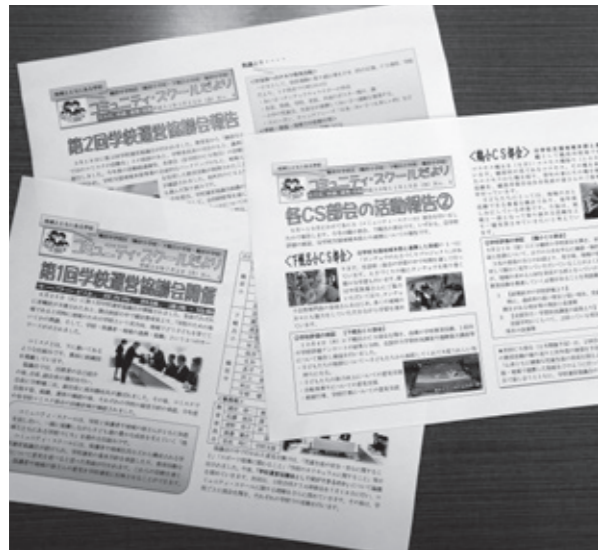
松井 コミュニティスクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる仕組みです。コミュニティスクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことが出来ます。主な役割として、

- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
 - ②学校運営について意見を述べるができる。
 - ③教職員の任用について意見を述べるができる。
- の3つがあります。

鶴居小学校、下幌呂小学校、鶴居中学校の3校でコミュニティスクールが始まりましたが、一年やってみての感想とこれからの鶴居ならではのコミュニティスクール像を伺います。

教育長

コミュニティスクールは、学校の良きパートナーになるものがあり、校長先生が描く学校のビジョンを地域住民



目指す子どもの姿を実現するために

松井 「教職員の任用について意見を述べること」については。

教育長 この部分員会で判断することになります。このコミュニティスクールの運用規則に入れていません。

や保護者と共有し、校長先生のリーダーシップのもとに汗をかき、そのビジョンの実践を目指すための仕組みです。鶴居中学校区で目指す子どもの姿を実現するため、学校としての責任を果たすには小中の連携が欠かせません。具体的には、「学校規律・家庭学習・宿題」「総合的な学習の時間」「9年間を見通したキャリア教育」についてです。子ども達の育ちに責任を持ち、役割を果たしていくことが大切であると考えています。

議会だよりは要約されています。
臨場感ある本会議場へお越しください。
議会の傍聴お待ちしております。
次回定例会は9月10日(火)10時~役場2階(予定)



松井 洋和 議員	P7
①鶴居村のコミュニティスクールは	
秋里 広志 議員	P8
①道路わきの支障木の対応は	
佐藤 吉人 議員	P9
①子ども子育て支援施設の運営は	
②希の杜団地の公園に遊具を	
③簡易軌道関係の土産品開発を	
松井 俊治 議員	P10
①農道の新設を	
吉田 保博 議員	P11
①新たな村づくりの重点プロジェクトへの対応は	
②幌呂スケートリンクの今後の対応は	
及川 満浩 議員	P12
①0歳児保育の保育体制は	
②地域公共交通網整備の取り組み状況は	
大津 泰則 議員	P13
①美しい地域景観の形成を	

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって、執行機関(村長・教育長)に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。
紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

7人の議員が14項目の質問 村政のことが聞きたい



あきさとひろし 秋里広志 議員

道路支障木の伐採は

村長 3年程の期間をかけ整備したい

秋里 道路わきの支障木の伐採は、交通上の安全確保と本村の美しい景観を維持する上で重要な案件です。

村は、関係機関と連携して伐採や枝払いに努めています。まだまだ苦情の音が聞かれます。当面は支障木の伐採や枝払いが優先されるべきですが、特に交差点やカーブについては幼木のうちから対策をするなど

将来に向けての対応も必要ではないでしょうか。現状の対策とこれからの対応について村長に伺います。

村長 道路は地域住民の暮らしの向上や観光の振興などにもつながる大切な社会資源として、安全な道路環境の維持や美しさなどの景観維持が求められるものと考えています。



幼木のうちに対処を

村としては、路面凍結や通行の障害となる支障木の伐採、枝払いを行いながら、安全な交通の確保に努めているところであります。さらに、昨年度からは道路景観に配慮し、特に景観を阻害している支障木の伐採なども進めています。

今後は、あらためて安全な道路環境の確保や景観の維持に向けて、生活道路を中心とした全村的な調査を実施し、3年程の期間をかけながら村道などの道路環境の改善に努めたいと考えています。

秋里 地域住民が協力出来ることもありますが、無理のない範囲で内部検討したい。

村長 無理のない範囲で内部検討したい。

表紙の写真



下幌呂小学校の全校キャンプ

7月19日に下幌呂小学校で行われた全校キャンプの一コマです。

当日はあいにくの雨でしたが、子どもたちはキャンプをとても楽しんでいました。

新保育園の保育時間は

村長 ニーズ調査し保育時間延長も含め検討

佐藤 働くお母さん達から保育時間延長の希望をお聞きしました。

延長保育実施のためには人の適正配置や安全面も必要なことは理解できますし、本施設が国の認可保育園を目指して取り組んでいることは理解していますが、経過や今後の見通しについて伺います。

村長 現在の保育時間は、7時30分から18時までですが、保育時間の延長を含め、国基準の保育認定区分による時間設定を検討しています。

また、ニーズ調査を行い、村が提供する保育サービスの充実を図りたいと考えています。

佐藤 保育サービスは最大午後何時まで可能ですか。

村長 社会福祉協議会が実施しているファミリーサポートを利用すると午後9時までです。

簡易軌道関係のお土産を

佐藤 北海道遺産の認定から約半年ほど経過しますが、ふるさと情報館みなくなるや、つるぼーの家には簡易軌道に関連するグッズはなにもありません。今後、簡易軌道に関連する記念品などを企画・製作する考えはあるのか伺います。

された鶴居村営軌道の記念品製作に関わるグッズの商品化や販売については、「保存し、有効活用」するための具体策として考えていますので、今後、村、教育委員会、関係者で、具体的に検討したいと考えています。

教育長 北海道遺産に認定

教育長 具体的な案があれば検討したいので、村が教育委員会に。

希の杜団地の公園に遊具を

佐藤 希の杜団地の公園には遊具がありません。保護者からも遊具設置の希望がでていますが見解を伺います。

村長 これまでに10区画で成約済みとなり、8世帯がすでに居住しています。

また、お子さんのいる世帯も多く、下幌呂地区の村政懇談会で公園整備の要望を受けており、地域住民に広く利用してもらえるように、地元自治会との協議しながら進めたいと考えています。



さとうよしひと 佐藤吉人 議員



高橋はるみ前知事と簡易軌道の前で

一般質問 秋里広志

一般質問 佐藤吉人



まつい しゅんじ 松井俊治 議員

支幌呂に農道の新設を

村長 可能性について多方面から模索する

松井 支幌呂西地区に来年度完成を目指し、TMRセンターが建設されます。草地面積400畝、デントコーン面積150畝、バンカーサイロ23基の規模のTMRセンターとなりますが、その内、約220畝の牧草とデントコーンが支幌呂地区より、新設予定のTMRセンターに運ばれることとなります。他にセンター未加入の2件の農家も茂

幌呂地区に90畝の草地を利用しており、合計すると約310畝もの農地面積になります。これらの農地を管理するために今後は、スラリー散布、肥料まき、デントコーンの播種・収穫、牧草の収穫などでこれまでに以上にトラクターなどの大型機械、大型車両が支幌呂線を行き来することから、農作業事故防止のため、今以上に作業効率を上げるため、埃が舞

うなどの環境面への配慮、そして、地域住民の交通安全の確保という理由から、道路の新設が必要であると考えます。道路に関する維持管理などの計画や財政事情もある事と思います。TMRセンターの建設とあわせて道路整備をすることにより農作業が効率化され、地域として酪農振興も図られると思いますが、村長の考えを伺います。

至っています。こうした農業振興地域での道路網の有機的・合理的な整備は、農村環境の改善はもとより、自給飼料の生産性向上や効果的・効率的な農業経営の充実などに貢献するものであり、地域農業の発展に必要なものと認識しているところです。あらためて、国や道の支援制度の活用や道路整備の可能性について、多方面から模索したいと考えています。



支幌呂に新設されるTMRセンター予定地

村長 過去にも、村政懇談会などで、農業振興の観点から地域要望を受けた経緯があります。当時の道管事業を始めとする各種補助事業の採択が見込めなかったことや、要望地区での地形的な問題などから、地域に対して、道路の新設は当面困難であるとの回答をさせていただき、現在に

松井 現在利用している砂利道の整備については。
村長 現状では難しいですが内部検討します。

重点プロジェクトへの対応は

村長 組織が一体となって達成に努める

吉田 第5次鶴居村総合計画の策定から一年が経過しましたが、計画初年度の所見について伺います。

また、6つの基本目標とは別に5つの重点プロジェクトとして、農業強化・新たな雇用創出・住民福祉向上・鶴居モデル構築に向けた環境共生・地域を支えるひとつづくり、が設定されています。現在村が抱えている大きな課題とも思います。

そこで、分野横断的な対応とありますが、どのような対応・対策をするのか村長の見解を伺います。

村長 基本目標に沿った施策の実現のため、農業生産基盤の整備や農協との連携による担い手対策の取り組みや、ベトナムとの関係強化などによるインバウンド受け入れの強化などを進めています。

次に重点プロジェクトですが、「農業強化プロジェクト」として農業の持続的発展や担い手対策、「地域を支えるひとつづくりプロジェクト」として住民参画の促進、「新たな雇用プロジェクト」

として雇用対策や滞在型観光の推進、「住民福祉向上プロジェクト」として少子高齢化対策や子育て支援の充実、「鶴居モデル構築に向けた環境共生プロジェクト」として自然保護やタンチョウとの共生への取り組みの5つを設定しています。担当課が中心となつて、行政全体での情報共有や共通の意識を持つ仕組みづくりを進めながら、村民や関係団体、村職員が一体となって重点プロジェクトの達成を推進できるように努めたいと考えています。

吉田 酪農、畜産の振興と鶴居村の未来創造は、行政として何ができるか幅広く取り組みます。

村長 経年劣化が進み、その都度、補修や修理を重ねてきましたが、今後

幌呂スケートリンクの今後は



老朽化が進む幌呂スケートリンク

吉田 幌呂スケートリンクは幌呂育成会が中心となり維持管理をしています。しかし42年が経過し、現在の育成会会員は52名（先生24名保護者28名）となり、維持管理に課題が生じているとのことですので、今後の対応について伺います。

吉田 村営リンクとの維持管理や小中学校の利用を考えると大きな過渡期であるとともに、何らかの対応策を検討しなければならぬ時期にきているのも事実です。教育委員会と幌呂小、幌呂中、幌育会との間で、将来を見据えて、具体的な対応策を協議していきます。

教育長 経年劣化が進み、その都度、補修や修理を重ねてきましたが、今後

吉田 村営リンクと教育長 現状では困難です。



よしだ ひろし 吉田保博 議員



おいかわみちひろ 及川満浩 議員

0歳児の保育体制は

村長 新保育指針に基づき十分な配慮を

及川 新保育園のゼロ歳児受け入れの月齢区分と施設面での対応について伺います。

子どもの保育への十分な配慮についても、未満児保育開始から2年が経過し、未満児保育に関する保育士の経験が蓄積されておられ、現在、豊かな保育経験を有する保育士を担当に充てるなど、新施設の開所に向けた保育体制の充実に努めているところで。

村長

新施設では、現在と同様の生後6か月からの受け入れを考えており、国が定める児童福祉施設の基準で施設整備を行います。また、月齢の少ない子

今後も、ゼロ歳児の保育体制には、国が定める職員配置基準や未満児保育の重要性が示されている新保育指針に基づき、引き続き十分な配慮を行うこととしています。



完成が待ち遠しい新保育園

及川 認可保育園の基準で施設整備するのか。

村長 国の認可基準に基づき、対応します。

地域公共交通への取り組み状況は

及川 「地域公共交通プラン」の策定は村民の要望、期待も大きいものがあります。今後のプラン策定のタイムスケジュールを伺います。また、来年度からのプラン実施に向けて、試験的な事業を考えているのか伺います。

公共交通の在り方やその方向性などを具体的に検討したいと考えています。また、実施可能な取り組みについては、前向きに進めたいと考えています。

村長 村では昨年度、利用者ニーズ調査や各地域で住民懇談会などを開催し、地域が置かれている公共交通の状況や住民の要望などの把握に努めてきました。今後、策定委員会の中で協議を進め、有効な公

試験的な事業の実施については、策定委員会などからの意見を参考に、地域を循環するバスの試行や新たな有償運行サービスの仕組みなどを検討したいと考えています。

及川 年度内に試験運行を行う予定は。

村長 新年度に実行したいと考えています。

美しい地域景観の形成を

村長 空き家対策も含めた検討協議を進める

大津

本村は、釧路湿原やタンチョウなどの自然資源や雄大な牧歌的景観が広がり、また、村内の各地域での花壇の造成など美しい地域景観づくりや、景観保全を村民が自ら行っています。

とってかけがえのない財産です。郷土を愛する心を育み、村の総合計画にある遊休地の活用や廃屋の整理に向けた取り組みが必要であると考えています。

村長

それぞれ地域での積極的な取り組みのもと、沿道の植栽や個人の住宅周辺の環境美化などに努めていただき、村に訪れる方々からも高い評価をいただいているものと考えています。

しかし、高齢化の進展や人口減少の時代を迎えています。

大津 本村でも景観形成計画を策定しては。

村長 地域住民の意識を高めながら、景観形成のあり方を検討したい。

この景観は、私たち村民に潤いと安らぎをもたらし、また訪れる多くの人々の心をいやし、村に

今後は「日本で最も美しい村」連合の活動や「鶴居村環境基本条例」など



おおつやすのり 大津泰則 議員



日本で最も美しい村 鶴居村

また、地域の景観形成に取り組むためには、地域の歴史や文化、産業活動など様々な要因を理解し、鶴居村らしいとはどのようなものであるかを地域住民が再認識したうえで、その保全・育成を図ることが重要です。

た中で、村内各地域では、空き家や老朽化した建物などが徐々に増えており、利用されない遊休地の増加などと合わせて今後の課題を抱えているところでは、個人の財産であるものが大半であり、行政がすぐに対応することは困難な状況にあります。昨年、市街地の地域住民を対象としたアンケート調査を実施しており、今年度も空き家の実態把握のための調査を予定しています。

このことから、地域の景観形成に取り組むためには、まず、地域の景観形成に関する専門家を招いての勉強会などを開催し、鶴居村にとってどのような取り組みが効果的であるのかについて、空き家対策なども含めた検討協議を進めていきいと考えています。

一般質問 大津泰則

一般質問 及川満浩

全道町村議会議員研修会 ワイナリー視察

どうなる日本の政治 どう変わる地方議会



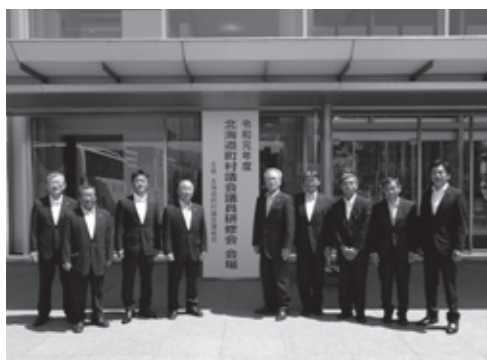
ありま はるみ 氏

政治評論家の有馬晴海氏から「どうなる？今後の日本政治」として、最新の情報や裏話などの講演を聞きました。



さきむら のぶお 氏

中央大学名誉教授の佐々木信夫氏から「地方は変わるか、自治体はどう変わるか」として、これからの議会のあり方などについて講演を聞きました。



全道町村議会議員研修

宝水ワイナリー

このワイナリーは2002年に醸造用ブドウの栽培を始め、2006年から醸造を開始しました。栽培品種としてはシャルドネ、ケルナーの白ワイン用品種と、ピノワール、レゼントの赤ワイン用品種で余市町や仁木町などからも集めています。

現在の圃場面積は7.8畝で、東向き斜面で水はけがよく、日照時間が長いのが特徴です。オーナーから「緯度的にはもっと北でもワインはできるが、積雪2mを超える地域でのワイン醸造は世界でも特異な地域と考える」とのお話がありました。

2017年からは山梨出身の若い醸造主任者を迎え入れ、これからもオリジナルワインを製造していくそうです。

映画「ぶどうのなみだ」のロケ地にもなった宝水ワイナリー



千歳ワイナリー



千歳ワイナリー

この会社は元々1988年に創業したグレイスワイン千歳ワイナリーという会社が母体で、ハスカップワインが有名です。

7月に入るとハスカップの収穫が始まり、8月からはハスカップワインの醸造を行います。10月からはブドウの収穫とワインの醸造が始まります。ブドウは余市町や仁木町からも仕入れていきます。

醸造所は元々、JAの貯蔵庫で、札幌軟石を使用した石造りの倉庫です。醸造・熟成を同じペースで行っていました。新千歳空港のすぐそばにあり、ワイナリーの見学に多くの方が訪れていました。

第1回臨時会

5月9日に臨時会を開きました。選挙後の初議会であり、議長・副議長の選挙などを行い、専決処分4件、契約1件の議案審議を行いました。すべての議案が原案通り可決されました。

▽工事請負 契約の締結

契約工事名：中雪裡下久著呂線改良工事
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：6765万円
契約の相手：株式会社 佐々木建設

▽監査委員 の選任



代表監査委員
灰塚玲子さん(64歳)

▽議会選出監査委員
大津泰則さん(70歳)



第2回臨時会

7月8日に臨時会を開きました。村長からの提出議案は4件で、内訳は計画の変更1件、契約2件、補正予算2件です。すべての議案が原案通り可決されました。

▽工事請負 契約の締結

契約工事名：子育て支援施設機械設備工事
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：8247万8千円
契約の相手：三建設工業 株式会社

契約工事名：子育て支援施設電気設備工事
契約の方法：指名競争入札
契約の金額：7117万円
契約の相手：マツダ電気 株式会社

▷ 鶴居村音楽祭 2019 「榎本大進&小菅優 デュオ・リサイタル」 100万円

村の芸術文化振興のため、世界最高峰のオーケストラ「ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団」の第一コンサートマスターを務める、世界最高峰のバイオリニストである「榎本大進」氏と、最も注目を浴びている若手ピアニスト「小菅優」氏をお迎えして10月14日に音楽祭を開催します。



©Keita Osada (Ossa Mondo A&D)

世界最高峰のバイオリニストの榎本大進氏



最も注目を浴びている若手ピアニストの小菅優さん

自然は偉大なアーティスト!

住民の声

Why not...club (ワイナットクラブ)

いたまなみ 板 真奈美 さん



生まれも育ちも釧路。将来は、活気ある友人が多く住む都会に移住する予定だった私が、10年ほど前から急に釧路湿原の自然に興味を持ち、まるで取り憑かれたようにハマりました。

寒い冬の朝の霧氷やダイヤモンドダスト、特に音羽橋からの光景は息を呑むほどの感動です。東の空から太陽が昇り始め、雪裡川を寢床にしているタンチョウたちが「けあらし」立ち込める中で徐々に目を覚まし、朝焼けの太陽の光が周りの氷に包まれた樹々(霧氷)をオレンジ色やピンク色に染める。「この感

動を伝えたい」。その一心から、私は人と自然を繋げるネイチャーガイドを第2の人生の仕事として選びました。北海道知事認定のアウトドアガイド資格取得には3年かかりましたが、花の名前、鳥の名前、北海道やアイヌの歴史などなど、50歳を過ぎて初めて一生懸命勉強した実感です。勉強は面白いものだと思えませんでした。

鶴居に住んでる皆様にとっては日常のワンシーンになっていくかもしれませんが、冬になるとシベリアから飛来するオオワシ、森の中で仲良く暮らしているエゾフクロウ、春になるとオーストラリアから飛んでくるオオジシギなどの野生動物の逞しさや可愛いらしさ、美しさは私には全てが新鮮でした。植物も同じように、いくら冬が寒くても春になると雪の中からも芽を出すフキノト

ウや福寿草。温根内木道で見られる氷河期時代から種を残しているミツガシワ。生き物たちは命を繋ぐための様々な努力をして今に至っていることを間近で知ります。

そして3年前、あるご縁をきっかけに鶴居村に移住して来ました。そんな中、長谷川光二&道子さんの存在を知りました。10年ほど前、理想郷を求めて鶴居村に入植し、チルワツナイで自然と芸術を融合させた生活を送った方々がいるということが私の価値観を変え、方向性が大きく変わることにあります。

その活動として昨年「長谷川光二&道子の軌跡〜チルワツナイの会」を発足。

自然と芸術が融合する機会を提供する場として開催した発足記念演奏会では、ピアノ、オーボエ、ヴァイオリン、ソプラノの歌声がまるで音楽ホー

ルで演奏しているかのようふるさと情報館に美しく優しく響き、観客全員を魅了したと信じています。好評につき鶴居村教育委員会のご協力もあり、同じメンバーで、来年2020年2月23日に演奏会が決まっています。どうぞ皆様おこしください。

私はガイドやチルワツナイの会の活動、またタンチョウと共生する村づくりの委員に就かせてもらっています。この鶴居村の素晴らしさを多くの皆様にお伝えしたいと同時に、人と自然が共生する理想的な村として存続できるような心から願っています。



発行責任者 長 松井広道
 議長 長 松井広道
 広報広聴常任委員会
 委員長 松井洋和
 副委員長 松井俊治
 委員 吉田保博
 委員 佐藤吉人



間伐と間伐材の有効利用を促進して健全な森づくりに貢献します。